

【INDEX】

- 1. トピックス：【包装材料用プラスチックの紹介】
【ポリエステルフィルムの生産設備増強】
- 2. 先端技術・研究：【鋼鉄並に強い透明プラスチックの開発】
- 3. 技術情報：【応用期待高まる「超臨界二酸化炭素」技術の開発動向】
- 4. 商品情報：【ECX（高性能導電性樹脂）】三菱化学（株）
【SX100（透明耐衝撃性PS）】PSジャパン（株）
【テクノMUH（耐熱ABS）】テクノポリマー（株）
- 5. Plastics-net.comサイト活用講座
【My Page機能のご紹介！】

◆ 1◇トピックス

【包装材料用プラスチックの紹介】

プラスチックの分野別用途で、最も多く使用されている包装材料向けのプラスチックとして、酸素バリア性のあるプラスチックを中心にご紹介しております。

<http://www1.plastics-net.com/topics/index62.html>

【ポリエステルフィルムの生産設備増強】

三菱化学ポリエステルフィルム（株）は、2008年10月完成を目標に、フラットパネルディスプレイ向けポリエステルフィルム（商品名「ダイアホイル」）の生産能力の年10,000トン増強を行うことを発表致しました。

<http://www.m-kagaku.co.jp/newsreleases/2007/20070913-1.html>

◆ 2◇先端技術・研究

【鋼鉄並に強い透明プラスチックの開発】

米国ミシガン大学の研究者らは、厚さが数10nmの粘土を接着剤の役割をするポリビニルアルコールで300層張り合わせる複合材料の手法により、透明で鋼のように強いプラスチックを開発しています。シートを連続的に処理することで大面積の材料を作ることも可能とされています。なお、この繊細な作業を行う複合材作製のロボットアームも合わせて開発されています。

<http://www.ns.umich.edu/htdocs/releases/story.php?id=6084>

◆ 3◇技術情報

【応用期待高まる「超臨界二酸化炭素」技術の開発動向】
(福井大学 堀 照夫氏、奥林 里子氏)

天然物からの有用または不要物質の抽出から始まった臨界二酸化炭素流体の応用技術が各種プラスチック材料や繊維に適用され、従来染色が不可能であったポリプロピレンやアラミドなどの繊維への染色やメッキが容易に行える様になってきております。ここでは、超臨界染色の原理と

これを応用した各種新規機能加工方法が紹介されております。

http://www1.plastics-net.com/mail_news/0711/51_01.html

[出典：工業材料 2007年2月号]
(株)日刊工業新聞社及び著者の許諾済

◆4◇商品情報

【ECX（高性能導電性樹脂）】（三菱化学株式会社）

ECXは、安定した導電性と良好な成形性を示す高性能導電性樹脂です。多くの機能に対応したグレードをラインナップしており、シリコンウエハー、ICトレーなどの防塵対策部品や静電対策包材などにご使用頂けます。

<http://www.mcc-spd.com/product/ecx/ecx.html>

【SX100（透明耐衝撃性PS）】（PSジャパン株式会社）

SX100は、透明耐衝撃性スチレン系樹脂で、押出成形に適した設計がされています。耐衝撃性／剛性のバランスに優れており、耐傷付き性にも優れているため、シート成形用途に最適にお使い頂けます。

<http://www.ps.jp.com/catalogue/SX100.PDF>

【テクノMUH（耐熱ABS）】（テクノポリマー株式会社）

耐衝撃性・流動性などのバランスに優れた耐熱性ABS樹脂で、荷重たわみ温度114℃の高耐熱グレードも取り揃えており、工業用品から家庭用品までの耐熱性を要求される用途において、広範囲にご使用頂けます。

<http://www.techpo.co.jp/jp/seihin/seihin.html>

◆5◇Plastics-net.comサイト活用講座 「My Page機能のご紹介！」

【サイト内の必要な情報を、すぐに見たい！】

Plastics-net.comでは、サイト内の必要な情報を保存しておけるMy Page機能を提供しております。サイト内の情報を保存したい時には、「My Page」に登録するタグを押して頂ければ、その情報は、あなたのMy Pageに登録されます。「My Page機能」のご活用により、業務を効率的に進める事が出来ます。

「My Page」ボタンを押せば、いつでも登録した欲しい情報にアクセス出来、登録した情報は50件まで保存できます。My Page機能には、この他に、最新トピックス3件の表示も可能です。

<http://www1.plastics-net.com/>

●メールニュースの配信継続の手続きをまだお済みでない方はこちら

< <mailto:mm-start@plastics-net.com> >

※メーラーが立ち上がりますので、そのまま送信して下さい。

●メールニュースの配信停止は

< <mailto:mm-stop@plastics-net.com> >

までお願いいたします。

●メールアドレスの変更について

メールアドレスの変更は、プラスチックサイトに登録された方のみ可能です。トップページから「My Page」をクリックし、[メールアドレスの変更]をお選びください。

< http://www1.plastics-net.com/php/mypage/u_list_mypage.php >

登録されていない方は、下記宛てに直接ご連絡ください。

発行元：三菱化学株式会社 コーポレート営業推進部

お問い合わせ：

< <mailto:3701608@cc.m-kagaku.co.jp> >

※お手数ですが、件名に「メールニュースへのお問い合わせ」とご記入

いただき、本文に、社名、部署名、氏名を明記の上、ご用件をお書き
ください。

COPYRIGHT (C) 2003
MITSUBISHI CHEMICAL CORPORATION
掲載されている記事・文章等は許可無く転用・転載はできません。
